

『スパークス 日本株長期投資のすすめ』



スパークスの株式投資、株式市場などに対する見方を紹介するコラムです。

第1号(2008年3月7日)

「はじめまして」

このコラムでは、私たちの投資に関する考え方や着目点などを皆様にお伝えしてまいりたいと考えており、今回はその記念すべき第一回目となります。

まずは、私どもスパークス・アセット・マネジメントの自己紹介をさせていただきます。

スパークス・アセット・マネジメントは、「ボトムアップ・リサーチ」による日本株式投資に特化した独立系の資産運用会社として1989年7月に創業いたしました。当時運用会社のほとんどが、大手金融機関のグループもしくは外資系という状況において当社は数少ない独立系運用会社でした。また同年12月に、日経平均株価が史上最高値を付け、その後約14年間で80%以上下落するという最悪のタイミングでの創業でもありました。

しかしながら、その後株価が下がり続ける中でも、「世界で最も信頼、尊敬されるインベストメント・カンパニーになる」というビジョンのもと、一貫した投資哲学と運用プロセスを背景に、私たちは運用資産残高を増加させてきました。

そして海外の投資家からもご支持を頂き、資産をお預かりさせて頂いている、グローバルに展開している運用会社です。

また、2001年12月に日本の運用会社で初めて株式市場に上場したことも、もう一つの大きな特徴であります。ちなみに銘柄コードは「8739」で、よく「ハナサク（花咲く）」と投資家の方から呼ばれたりしています。（2006年10月に持ち株会社に移行、現在上場しているのは親会社であるスパークス・グループ）

さらに近年では、日本株に特化した既存ビジネスを強化するとともに、“Center for Asia Investment Intelligence”の旗を掲げて、今後成長が期待されるアジア地域を対象とした投資プラットフォームの構築にも積極的に取り組んできております。その一環として韓国や香港の運用会社のM&Aを行い、現在オルタナティブ（代替）運用の残高ベースでは、アジア地域でナンバーワンの地位を確立しています（Institutional Investor's Alpha, 2007年3月末現在）。

このような投資哲学と運用プロセスそしてビジョンのもとで、私たちは、急成長するアジアの中の日本、外国人投資家が着目する日本といった着眼点から、銘柄選択を行い投資を行ってまいります。

次回以降、より詳しく投資に関する考え方、銘柄選択の方法そして投資信託を取り巻く投資環境についてなどを述べてまいりたいと考えております。

これから末永いお付き合いのほどよろしくお願いいたします。

(注) 本コラムは、マネックス証券Web-Site「マネックスラウンジ」の「マネックスメール」に掲載されている「スパークス・アセット・マネジメントの『SPARX Way』」をもとにスパークスが作成したものであります。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。